

## 2025 年度 学校経営計画及び学校評価

### 1 めざす学校像

一人ひとりが自分らしい生き方で社会に貢献できるよう、豊かな人間性と確かな学力が育つ学校をめざします。

1. 建学の精神「報恩感謝」を大切にし、教育理念「教育の目的は人をつくること」に基づく教育を実践することにより、人間的な成長・発展を実現し人格の完成をめざします。
2. 生活・学習の両面において基礎・基本を徹底的に行い、社会的自立にむけ、そのため必要な基盤となる能力や態度を育成します。
3. 一人ひとりが持つ可能性を開花させるため、主体的に生きようとする態度と能力を養います。
4. 地域とのつながり強化し、安全で安心な学校をつくります。

### 2 中期的目標

#### 1.建学の精神を土台とした私学の独自性を発揮する

- (1)建学の精神「報恩感謝」を大切にし、教育理念「人をつくる」に基づく教育を教職員が理解・実践することにより、児童の人間的な成長・発展を実現し人格の完成をめざす。
- (2)私学としての特色ある教育を実践するために、小学校教育指針に基づく教育計画を構築し、実践することをめざす。

#### 2.基礎学力の徹底と学園小独自のカリキュラムづくり

- (1)一人ひとりの興味関心を大切にし、学習に自信をもたせるように配慮し、意欲的態度や実行力を養いながら基礎学力の徹底を図る。
- (2)指導要領の内容に加えて、学園小独自に開発・改良を加えた学習を組み合わせ、より子どもたちにわかりやすく意欲的になれる授業を実践する。
- (3)教員の指導力向上を目指し、研修を計画するとともに、定期的に学習内容を精選・改善する。また、外部研修を利用し指導力向上に役立てる。

#### 3.自律の意識を育むための基本的生活習慣の育成

- (1)基本的生活習慣の育成するために、「何を」「どの機会に」しつけるかを熟慮し、規範を示すことにより、生涯に亘る自律の意識を育まれるような指導を行う。
- (2)児童はきまりやマナーの意義を理解し規律遵守の意識レベルの向上を図る。また、教職員がきめ細やかな指導に力を入れることを目指す。

#### 4.社会性を培う集団活動の充実

- (1)児童の成長の糧となるもの、時代の要請に答えるべき行事を見極め、「何をこそ学ばせるべきか」を熟慮探究する。
- (2)集団生活を通して、子ども同士のコミュニケーション能力を培う。また、子ども自身の活動を重んじ、実行を助け、その結果を児童が常にふり返られるよう指導する。
- (3)社会性や市民性を育む体験活動のねらいや学習活動を系統立てながら実践する。社会性や市民性を育む体験活動

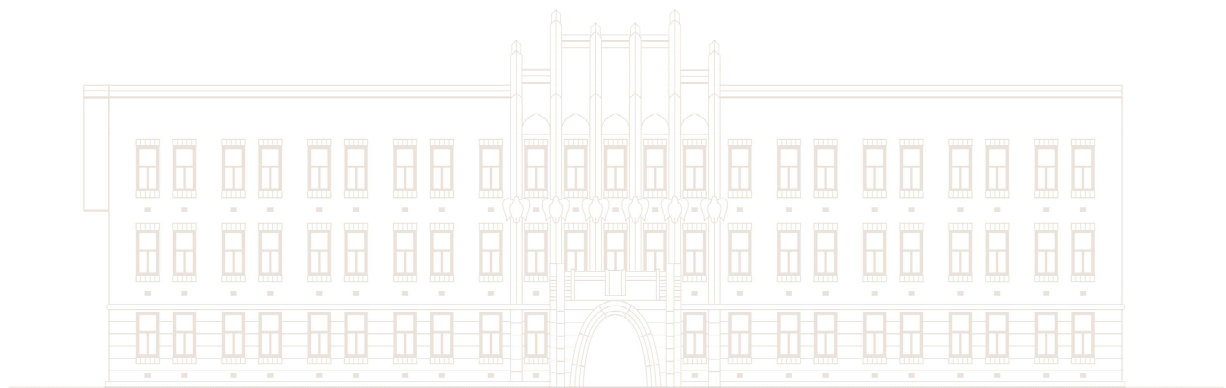
#### 5.主体的な生き方の尊重

- (1)道徳教育 学級生活や道徳の授業を通して、多様な価値観を認めあい、共に生きていこうとする態度を養う。

(2)人権教育 人としての在り方・生き方を考え、他者と共により良く生きていくための人権意識を育成する。また、いじめ等の予防、早期発見のための「いじめアンケート」や「日記」などから迅速に方策をねり、対応する。

#### 6.安全安心な学校づくりを目指した教育環境の充実

- (1)児童の生命を守るために、地震などの一般防災に関する対策とマニュアル、不審者等の危機管理に関する対策とマニュアルを作成し、緊急時の対応を常に再検討し、訓練の実施、校内の安全性を高める。また、災害に備えて備蓄品を整える。
- (2)自他の命を尊び、安全な暮らしを希求する態度を育てるために、「非行防止教室」等の外部組織研修を受講させ、一人ひとりの安全意識向上に役立てる。また、学校管理下の事故未然防止を図ると共に、事故が発生した際、「小学校危機管理マニュアル」に従い、児童の命と健康を最優先に迅速かつ適切な対応を教職員は行う。「情報モラル教育」授業を実施し、携帯やパソコン等の情報機器の正しい使用法を児童に習得させる。特に個人に係わる情報公開の危険性は人権の観点からも指導する。
- (3)落ち着いた環境の下で、安全に学校生活を過ごせるように教室や運動場等の美化に教職員・児童ともに取り組む。また、児童に好ましい環境を目指し、遊具等の設置や補充を計画すると共に、老朽化した設備を修理改修し、校内の安全性を向上する。



【自己評価アンケートの結果と分析・学校協議会からの意見】

＊学校教育自己診断の結果と分析(2026年2月実施)

＊児童アンケート結果

3年～6年 児童対象学校評価アンケート		2022年	2023年	2024年	2025年
問1	学園小に入学してよかった。	4.70	4.62	4.68	4.71
問2	先生は、みんなをかしこくするためにがんばっている。(2023年まで) 先生の話や授業を聞いて、私はかしこくなっている。(2024年)	4.73	4.63	4.12	4.13
問3	先生の教え方は、くふうしていてわかりやすい。(2023年まで) 先生は、授業の教え方や内容を工夫している。(2024年)	4.51	4.42	4.3	4.28
問4	学園小には、自分で決めたり選んだりできることがたくさんある。	4.49	4.39	4.45	4.48
問5	わたしは、まじめに授業を受けている。(2023年まで) わたしは、やる気をもって学習している。(2024年)	4.21	4.22	4.08	4.12
問6	授業や学習でiPadを使うことは勉強に役立っている。 (2025年から)				4.32
問7	学園小の行事は、楽しい。	4.80	4.78	4.79	4.8
問8	学園小の「学校のきまり」は、いいきまりだ。	4.37	4.29	4.16	4.18
問9	先生は、きまりやマナーに力を入れている。(2023年まで) 先生は、きまりやマナーを守ることを教えてくれる。(2024年)	4.51	4.47	4.55	4.44
問10	わたしは、きまりやマナーを守っている。	4.24	4.18	3.98	4.08
問11	わたしは、児童会活動や係の活動がんばっている。	4.70	4.7	4.64	4.69
問12	わたしは、学校で友達とうまくいっている。	4.47	4.39	4.34	4.46
問13	先生と子どもたちとは、うまくいっている。	4.68	4.15	4.45	4.34
問14	けんかやいじめがあつたら、先生はすぐに話を聞いてくれる。	4.58	4.34	4.32	4.25
問15	学園小の制服やランドセル・体操服は、気に入っている。	4.26	4.09	4.02	4.35
問16	学園での習い事は、楽しい。	4.17	4.17	3.97	4.05
問17	学園での建物や道具は、安全で使いやすくなっている(2023年まで) 学校の教室や運動場は、安全で使いやすくなっている。(2024年)	4.33	4.32	4.16	4.24
問18	教室や学校の中は、いつもきれいになっている。(2023年まで) 学校は、清掃や整理整頓がきちんとできている。(2024年)	3.98	3.82	4.21	4.29
問19	先生は、成績のお知らせやお手紙をきちんと出している(2023年まで) 先生は、学校生活のことや学級のことを、わかりやすく伝えてくれる(2024年)	4.69	4.76	4.44	4.39

\*保護者アンケート結果

保護者対象学校評価アンケート		2022年	2023年	2024年	2025年
問1	学園小に入学させてよかった。	4.60	4.61	4.55	4.49
問2	学園小は、基礎学力向上を目指して努力している。(2023年まで) 子どもは授業を通して、確実に学力が身につけている。(2024年)	4.09	4.17	3.98	3.84
問3	先生の教え方は、工夫されていてわかりやすい。(2023年まで) 授業の指導方法や内容に工夫がなされている。(2024年)	4.23	4.32	4.13	4.14
問4	学園小は、子どもの主体性・自主性をはぐくむ環境が整っている。	4.41	4.49	4.33	4.37
問5	子どもたちは、まじめに授業を受けている。(2023年まで) 子どもは意欲的に学習するように努めている。(2024年)	4.19	4.22	3.86	3.79
問6	iPadを活用した授業や、家庭でのICT活用は、子どもの学びに役立っている。(2025年から)				3.43
問7	学園小の行事は、楽しく充実している。	4.60	4.72	4.66	4.65
問8	学園小の「学校のきまり」は、いいきまりだ。	4.31	4.39	4.13	4.27
問9	先生は、きまりやマナーの指導に力を入れている。	4.11	4.23	4.02	4.01
問10	子どもは、きまりやマナーを守っている。	3.89	4.01	4.06	4.02
問11	子どもは、児童会活動や係の活動をがんばっている。	4.50	4.50	4.46	4.33
問12	子どもの友達関係は、うまくいっている。	4.24	4.29	4.15	4.17
問13	先生と子どもは、うまくいっている。	4.47	4.49	4.48	4.41
問14	先生は、けんかやいじめがあったら、すぐに対応している。	4.34	4.30	4.28	4.20
問15	学園小の制服やランドセル・体操服は、気に入っている。	4.06	4.15	4.05	4.14
問16	学園での習い事は、楽しく充実している。	4.08	4.07	3.98	3.92
問17	学校の施設設備は、安全を考慮し、整備されている。	4.07	4.16	4.19	4.17
問18	教室を含めた学校の美化は、行き届いている。(2023年まで) 学校は、清掃や整理整頓が行き届いている。(2024年)	4.18	4.24	4.32	4.40
問19	生活状況や学習成績の通知は、わかりやすく行き届いている。(2023年まで) 生活状況の通知は、学級会や学級通信等で、分かりやすく行き届いている。(2024年)	4.00	4.28	4.14	4.15

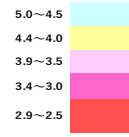
\*教職員アンケート結果

教員自己評価集計 5年間経年変化表 令和7年12月1日作成

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
	1. 教育方針の具体化	2. 年令に応じた教育計画	3. 教務的中心的運営	4. 有効な研修・会議の開催	5. 基幹業務の効率化	6. H.P.や通信等の情報提供	7. 緊急時・防災訓練等安全対策	8. 好ましい子ども環境の構築	9. 職員の仕事満足度	10. 授業の実践性	11. 学習意欲向上	12. 学力向上	13. 社会的マナー・礼儀の定着	14. 思いやりのある態度育成	15. 保護者との連携	
R7	4.2	4.2	3.7	4.0	3.6	4.0	3.6	3.6	3.1	4.5	4.3	4.4	4.3	4.5	4.4	
R6	4.2	3.9	3.7	4.1	3.7	3.9	4.1	3.3	3.4	4.5	4.4	4.4	4.2	4.3	4.3	
R5	4.5	4.3	4.0	4.1	4.1	4.0	4.3	3.6	3.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.5	4.5	
R4	4.4	4.2	4.2	4.2	3.9	4.3	4.3	3.8	3.2	4.5	4.6	4.5	4.2	4.5	4.3	
R3	4.5	4.2	4.3	4.2	4.0	4.4	4.3	3.5	3.6	4.5	4.5	4.5	4.3	4.4	4.3	
	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	16. 人権意識向上	17. 自然環境保全の意識向上	18. 健康の知識技能の指導	19. 防災や安全に関する指導	20. 主体性を重視した指導	21. 読書指導	22. 礼儀を重んじる態度育成	23. 規則を守る態度の定着	24. 美化意識の向上	25. 理解不足な児童への支援	26. 保護者相対談	27. 進路相談	28. 教育生活交換指導等	29. 研修計画の作成	30. 個人研究・研修制度	31. 外部研修内容の共有
R7	4.0	3.7	3.8	4.0	4.3	3.8	4.0	4.1	4.1	3.9	4.4	3.7	4.1	3.8	3.3	3.4
R6	4	3.7	3.9	4.1	4.1	4.1	4	4.2	3.8	3.9	4.1	3.7	4.1	4.2	3.4	3.5
R5	4.3	3.8	4.1	4.5	4.4	4.1	4.2	4.4	4.1	4.3	4.6	4.0	4.0	4.4	3.5	3.5
R4	4.2	3.8	4.0	4.2	4.4	4.0	4.4	4.3	4.1	4.1	4.3	3.9	4.1	4.3	3.4	3.8
R3	4.3	3.7	4.0	4.2	4.4	4.1	4.5	4.4	4.2	4.0	4.2	4.1	4.2	4.3	3.7	3.7

# 「児童・保護者・教員」評価比較

			2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
問1	保護者	学園小に入学させてよかった。	4.6	4.6	4.6	4.6	4.5
	児童	学園小に入学してよかった。	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7
問2	保護者	学園小は、基礎学力向上を目指して努力している。(2023年まで) 子どもは授業を通して、確実に学力が身につけている。(2024年)	4.2	4.1	4.2	4.0	3.8
	児童	先生は、みんなをかしこくするためにがんばっている。(2023年まで) 先生の話や授業を聞いて、私はかしこくなっている。(2024年)	4.7	4.7	4.6	4.1	4.1
	教職員	学力向上	4.5	4.5	4.5	4.4	4.4
問3	保護者	先生の教え方は、工夫されていてわかりやすい。(2023年まで) 授業の指導方法や内容に工夫がなされている。(2024年)	4.4	4.2	4.3	4.1	4.1
	児童	先生の教え方は、くふうされていてわかりやすい。(2023年まで) 先生は、授業の教え方や内容を工夫している。(2024年)	4.6	4.5	4.4	4.3	4.3
	教職員	分かりやすい授業の実践	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
問4	保護者	学園小は、子どもの主体性・自主性をはぐくむ環境が整っている。	4.5	4.4	4.5	4.3	4.4
	児童	学園小には、自分で決めたり選んだりできることがたくさんある。	4.5	4.5	4.4	4.5	4.5
	教職員	主体性を重視した指導	4.4	4.4	4.4	4.1	4.3
問5	保護者	子どもたちは、まじめに授業を受けている。(2023年まで) 子どもは意欲的に学習するように努めている。(2024年)	4.3	4.2	4.2	3.9	3.8
	児童	わたしは、まじめに授業を受けている。(2023年まで) わたしは、やる気をもって学習している。(2024年)	4.1	4.2	4.2	4.1	4.1
	教職員	学習意欲向上	4.5	4.6	4.5	4.4	4.3
問6	保護者	iPadを活用した授業や、家庭でのICT活用は、子どもの学びに役立っている。(2025年より)					3.4
	児童	授業や学習でiPadを使うことは勉強に役立っている。(2025年から)					4.3
問7	保護者	学園小の行事は、楽しく充実している。	4.5	4.6	4.7	4.7	4.7
	児童	学園小の行事は、楽しい。	4.7	4.8	4.8	4.8	4.8
問8	保護者	学園小の「学校のきまり」は、いいきまりだ。	4.4	4.3	4.4	4.1	4.3
	児童	学園小の「学校のきまり」は、いいきまりだ。	4.5	4.4	4.3	4.2	4.2
問9	保護者	先生は、きまりやマナーの指導に力を入れている。	4.3	4.1	4.2	4.0	4.0
	児童	先生は、きまりやマナーに力を入れている。(2023年まで) 先生は、きまりやマナーを守ることを教えてくれる。(2024年)	4.6	4.5	4.5	4.6	4.4
問10	保護者	子どもは、きまりやマナーを守っている。	4.1	3.9	4.0	4.1	4.0
	児童	わたしは、きまりやマナーを守っている。	4.3	4.2	4.2	4.0	4.1
	教職員	社会的マナー・モラルの定着 規則を守る態度の定着	4.3 4.4	4.2 4.3	4.4 4.4	4.2 4.2	4.3 4.1
問11	保護者	子どもは、児童会活動や係の活動ががんばっている	4.5	4.5	4.5	4.5	4.3
	児童	わたしは、児童会活動や係の活動ががんばっている。	4.6	4.7	4.7	4.6	4.7
問12	保護者	子どもの友達関係は、うまくいっている。	4.4	4.2	4.3	4.2	4.2
	児童	わたしは、学校で友達とうまくいっている。	4.5	4.5	4.4	4.3	4.5
	教職員	思いやりのある態度育成	4.4	4.5	4.5	4.3	4.5
問13	保護者	先生と子どもは、うまくいっている。	4.6	4.5	4.5	4.5	4.4
	児童	先生と子どもたちは、うまくいっている。	4.6	4.7	4.2	4.5	4.3
	教職員	保護者との連携	4.3	4.3	4.5	4.3	4.4
問14	保護者	先生は、けんかやいじめがあったら、すぐに対応している。	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2
	児童	けんかやいじめがあったら、先生はすぐに話を聞いてくれる。	4.4	4.6	4.3	4.3	4.3
問15	保護者	学園小の制服やランドセル・体操服は、気に入っている。	4.2	4.1	4.1	4.1	4.1
	児童	学園小の制服やランドセル・体操服は、気に入っている。	4.4	4.3	4.1	4.0	4.4
問16	保護者	学園での習い事は、楽しく充実している。	4.3	4.1	4.1	4.0	3.9
	児童	学園での習い事は、楽しい。	4.3	4.2	4.2	4.0	4.1
問17	保護者	学校の施設設備は、安全を考慮し、整備されている。	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2
	児童	学園での建物や道具は、安全で使いやすくなっている(2023年まで) 学校の教室や運動場は、安全で使いやすくなっている。(2024年)	4.3	4.3	4.3	4.2	4.2
	教職員	教育・子どもに好ましい環境	3.5	3.8	3.6	3.3	3.6
問18	保護者	教室を含めた学校の美化は、行き届いている。(2023年まで) 学校は、清掃や整理整頓が行き届いている。(2024年)	4.2	4.2	4.2	4.3	4.4
	児童	教室や学校の中は、いつもきれいになっている。(2023年まで) 学校は、清掃や整理整頓がきちんとできている。(2024年)	4.1	4.0	3.8	4.2	4.3
	教職員	美化意識の向上	4.2	4.1	4.1	3.8	4.1
問19	保護者	生活状況や学習成績の通知は、わかりやすく行き届いている。(2023年まで) 生活状況の通知は、学級会や学級通信等で、分かりやすく行き届いている。(2024年)	4.4	4.0	4.3	4.1	4.2
	児童	先生は、成績のお知らせやお手紙をきちんと出している(2023年まで) 先生は、学校生活のことや学級のことを、わかりやすく伝えてくれる(2024年)	4.7	4.7	4.8	4.4	4.4



## \*分析と課題

まず、問1・問7は継続して高い評価を得ております。学園小の行事は伝統として続けられているものや、また教職員が協議し、新しく作り上げたものもあります。児童の皆さんや保護者の皆様に評価していただけたことは、本校の教育方針を基本に、一人ひとりに培ってほしい自主性や協調性、社会性を育み、教員とお子様と一緒にやり取り組んでいけたことにつながります。あらためて、その意義を再認識し、よりお子様が楽しく充実した学校生活が過ごせるように邁進していく所存です。

問11 児童の評価は、自己肯定感を持ち日々頑張っている子どもたちの姿だと認識しています。本校らしいと思います。この思いをしっかりとお子様にお持ちいただき、自信をもって学校生活で活躍してもらえよう教職員も取り組んでまいります。

また、どの問いにつきましても概ね 4.0 以上の評価となりました。保護者の皆様やお子様の肯定的な評価と受け止めています。しかし、それに満足するのではなく、よりよい学校づくりをめざしていかなければと身の引き締まる思いです。

ここからは今年度の課題と思われる点です。

問2「学園小は、基礎学力向上を目指して努力している」問3「授業の指導方法や内容に工夫がなされている」問5「子どもは意欲的に学習するように努めている」につきまして、保護者の皆さんからの評価が年々下がってきています。これは早急な課題であると認識し、打開策を練る必要があると考えています。指導要領に基づいた基礎学力の徹底は当然のことであり、そこに本校の特色ある教育をお子様に育んでいくことが使命だと考えていますので、取り組んでまいります。

問6「iPad を活用した授業や、家庭での ICT 活用は役立っている」の項目です。児童は 4.3 と高評価といえますが、保護者の皆様の評価は 3.4 と低評価といえます。特に、4年生は1人1台でタブレットを使った学習を進めてまいりました。子どもたちにとって興味深く楽しい学習につながったと思っていましたが、役立った学習であったという実感が保護者の皆様にお持ちいただけなかったことは反省すべき点です。

最近、海外では児童の SNS 使用に疑問を呈し、年齢制限をかけた国もあります。コロナ時期から学校でタブレットを使うことが多いに奨励されましたが、小学校時代のお子様はタブレットやネットを利用した学習方法の長所短所を教職員が見極めていくことは必須です。また、今までの学習方法(授業でノートに書く・本を画面で読む・宿題を用紙で提出するなど)の利点を再認識し、お子様にとってわかりやすく、より学力向上につながる学習につなげたいと考えています。

その他に、以下の事をご報告いたします。

問15「制服やランドセル」につきましては、今年度より冬期に長ズボンを採用しました。また、ネクタイやリボン、スカートやズボンなども組み合わせを自由に着用できるようになりました。一人ひとりのコーディネートで違いがあり、個性がより表現できているように思います。

問16「学園での習い事」につきましては、(株)イング、音楽教室、温水プール教室等と検討を重ねております。この学校アンケートでいただいた評価を参考に、次年度以降に子どもたちが楽しく興味をもてる教室にできるよう努めます。

学校協議会(評価委員会)からの意見

〈小学校評価委員会を開催〉2026年2月5日実施

\*アンケートの結果を考察して、以下の点について討議した。

1.「学力・教え方の工夫」について

保護者の評価は、下がっているが、教職員に評価はかわっておらず、保護者と教職員の認識に差があり、今後何が必要でしょうか。また、どのようなことを改善すればいいでしょうか？

(特に問2問3)

- ・「子どもは授業を通して」と聞かれると「我が子は」という見方をして、遠慮が出て、親はどうしても低めの数字とするのかもしれない。自分の子どもが出来ているかと言われたら、5とは付けにくい。
- ・塾と混同している感じがある。塾で教える学力と学園小は、角度が違う。親はどうしても厳しめに子どものことを書くから、評価が低い。
- ・スマホが急激に流行だし、携帯などの扱いは向上しているが、考える力がない。コミュニケーション力が低くなってきているのでは。それが学力につながっている。しかし、これは社会の在り方。

(学校の成績通知などがちゃんと保護者が学力を看取るものになっているか?)

- ・塾は中学受験を考えているので、学校の成績通知とはすみ分けている。  
学校の成績通知などは、面談などで細かいところまで説明があるので、わかりやすい。
- ・2023年までと2024年から質問がかわっているが、違う質問のように見える。2023年までは学園小への評価と。学園小は頑張っているけど、我が子はそんなに学力がついているのか?と。だから、2024年から下がっているのではないか。教職員と評価の乖離が出来ているのもそれが要因では。
- ・高学年などは教科ごとに先生を変えては。そちらの方が、先生のスキルも上がるし、専門的になり、教え方も高度になる。

2.「学習意欲」について

保護者の評価が、4点を切っています。何が必要か、どのようなことを改善すべきでしょうか。

(問5)

- ・親は、家での我が子の様子を見て評価している。児童は学校ではちゃんと勉強していても、家では親は「勉強しなさい」と言う。意欲的とはいいいにくい。
- ・理想は、自分から自主的に取り組む、学校に何が促せる工夫があったら、この評価が上がってくるのでは。例えば学校で、家に帰ってからのタイムスケジュールを書く癖を付ける。やることリストのような、それを連絡帳に書き込む。その日のスケジュール管理を簡単なもので。宿題をいつやるか自分で決めて書かせるなど。

3.「一人一台タブレット学習」について

2025年度より4年生から各自一人一台タブレット学習が始まりました。タブレット学習に関する評価が、保護者と児童に差があり、保護者の評価が、4点を切っています。今後、何が必要で、どのようなこと

を改善すればいいでしょうか。(問6)

- ・宿題は紙でほしい。書くことが減った。作文も紙できちんと書いてほしい。写真を貼れたり便利にはなっていると思うが。
- ・ここ4.5年で急激に画面を見る時間が増えている。タブレット学習だけでなく、テレビも見る。ゲームもする。目はどうなるかと体のことを考えると心配。
- ・家庭での(タブレットや携帯などの使用時間)に関しては、各家庭がそれぞれすぎて、学校の管理のレベルではない。この状態で、どうしてもタブレット学習をしなくはいけないのか。自宅に帰ってまでしなければいけないのか。
- ・塾でもタブレットでオンライン授業とかもあり、学校が終わってからもオンラインで、子どもは疲れている。

#### 4.「教育・子どもに好ましい環境」について

「教育・子どもに好ましい環境」について、保護者や児童は4点以上あるが、教職員が4点を切っていることは、どう考えられますか。(問17)

- ・教員は何をもってこの評価をつけているのか。何かあるなら、自分の職場なので子どもに好ましくないと思っているなら会議なので提案すべき。教職員評価も、保護者と一緒に、低いものには理由を書いてもらうとよい。

#### 5.「学校全体・その他」について

昔に比べたら優しい子が増えたように感じるが、それは、お互い傷つけないようにやっているように思う。子ども達の間関係性が薄くなっているかもしれないが、どう考えられますか。

- ・見方によっては、人間関係が希薄になっている。つるむことが少なくなっている。
- ・ラインのグループにつながれば(直接遊ばなくても)外に遊びに行くようすすめても、オンラインで遊んでいると答える。
- ・ゲームもオンラインで、ゲーム中に会話もしている。遊び方が昔とは違ってきている。社会全体がそうなってきている。

### 3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標	自己評価
1.建学の精神を土台とした私学の独自性	建学の精神の理解と実践と教育計画の構築	①職員研修などを通して、建学の精神・教育理念や方針を理解し、実践します。 ②小学校教育指針に基づく教育計画の構築し、実践します。	①教育方針の具体化に関する教員自己評価 4.3 以上を目指します。(令和 6 年度 4.2) ②年間教育計画に関する教員自己評価 4.0 以上を目指します。(令和 6 年度 3.9)	①教育方針の具体化に関する教員自己評価は 4.2 で目標に達しませんでした。 ②年間教育計画に関する教員自己評価は 4.2 で目標に達しました。
2.基礎学力の徹底と学園小独自のカリキュラムづくり	(1)基礎学力の徹底	一人ひとりの興味関心を大切にし、学習に自信を持たせるように配慮し、意欲的態度や実行力を養いながら基礎学力の徹底を図ります。	保護者アンケート「基礎学力向上を目指して努力している」の評価を 4.1 以上に向上します。(令和 6 年度 4.0) 学力向上に関する教員自己評価 4.5 以上を目指します。(令和 6 年度 4.4)	保護者アンケート「基礎学力向上を目指して努力している」の評価は 3.8 で目標に達しませんでした。 学力向上に関する教員自己評価は 4.4 で目標に達しませんでした。 保護者の評価が年々下がっており、基礎学力向上の方法を早急に検討し、徹底できる必要があります
	(2)独自のカリキュラムづくり	①指導要領の内容に加えて、学園小独自に開発・改良を加えた学習を組み合わせて、より子どもたちにわかりやすく意欲的になれる授業を実践します。 ②英語教育の充実・ICT 機器を用いた各教科の効果ある授業の実践を目指します。 特に 4 年生は、常時 1 人 1 台 ipad を利用できるため、効果的なプログラムを研究し、実践して	①保護者、児童アンケートのうち、「教え方は工夫されている」の評価を保護者 4.2 以上、児童 4.4 以上に向上します。(令和 6 年度保護者 4.1 児童 4.3) ②③わかりやすい授業の実践に関する教員自己評価 4.6 以上を目指します。(令和 6 年度 4.5)	①保護者、児童アンケートのうち、「教え方は工夫されている」の評価は保護者 4.1 児童 4.3 で目標に達しませんでした。 ②わかりやすい授業の実践に関する教員自己評価は 4.5 で目標に達しませんでした。 今年度より 4 年 1 人 1 台 ipad を利用した学習が始まりました。保護者評価は 3.4 児童 4.3 と差が大きく見られました。

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標	自己評価
		いきます。 ③児童自身が考え、提案し、自発的に運営していける学習や活動を精選し、構築していきます。		保護者に ICT を用いた学習方法について実証や説明ができていなかったと思われます。 ③「児童会活動や係の活動をがんばっている」アンケートで、保護者評価 4.3 児童評価 4.7 となっています。特に児童は自発的な活動ができていていると考えています。
	(3)教員の指導力向上	①教員の指導力向上を目指し、研修を計画するとともに、定期的に学習内容を公開し、教育関係者の意見を参考に教育内容を精選、改善します。 ②外部研修への参加や個人研究・研修の支援制度をつかい、教員の指導力向上を目指します。	①計画的な教員研修に関する教員自己評価 4.3 以上を目指します。(令和 6 年度 4.2) ②外部研修への参加や個人研究・研修に関する教員自己評価 4.0 以上を目指します。(令和 6 年度 3.5)	①計画的な教員研修に関する教員自己評価は 3.8 で目標に達しませんでした。 ②外部研修への参加や個人研究・研修に関する教員自己評価は 3.4 で目標に達しませんでした。 令和 6 年度より評価が下がり、今後研究委員会とともに検討すべき課題だと思われます。
3.自律の意識を育むための基本的生活習慣の育成	(1)基本的生活習慣の育成	①「何を」「どの機会に」しつけるかを熟慮し、規範を示すことにより、生涯にわたる自律の意識を育む指導を行います。 ②意識的に縦割り集団を組織したり、グループ活動を取り入れたりして「みんなでいっしょに」「高学年を敬う」「低学	①礼儀を重んじる態度に関する教員自己評価 4.1 以上を目指します。(令和 6 年度 4.0) ②保護者アンケート「子どもの主体性・自主性は育む環境が整っている」の評価を保護者 4.4 以上に向上します。(令和 6 年度 4.3) 主体性重視に関する教員自己評価 4.2 以上を	①礼儀を重んじる態度に関する教員自己評価は 4.0 で目標に達しませんでした。 ②保護者アンケート「子どもの主体性・自主性を育む環境が整っている」の評価は、保護者 4.4 で目標に達しました。 主体性を重視した指導

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標	自己評価
		年を育む」を常に考えさせることで、自律の意識を育みます。	目指します。(令和6年度4.1)	に関する教員自己評価は4.3で目標に達しました。
	(2)規律遵守の向上	児童は、きまりやマナーの意義を理解し、規律遵守の意識レベルの向上を図ります。また、教員がきめ細やかな指導に力を入れることを目指します。	児童・保護者アンケート「きまりやマナーの指導に力を入れている」の評価を児童4.7 保護者4.1以上に向上します。(令和6年度児童4.6 保護者4.0) 規則を守る態度に関する教員自己評価4.3以上を目指します。(令和6年度4.2)	児童・保護者アンケート「きまりやマナーの指導に力を入れている」では、児童4.4 保護者4.0で目標に達しませんでした。また、規則を守る態度に関する教員自己評価4.1でした。「社会的マナー・モラルの定着」の教員自己評価は4.3で、定着はしつつも指導がさらに必要であると考えます。
4.社会性を培う集団活動の充実	社会性や市民性を育む体験活動	①子どもの成長の糧となるもの、時代の要請に答えるべき行事を見極め、「何をこそ学ばせるべきか」を熟慮探求します。 ②集団生活を通して、子ども同士のコミュニケーション能力を培っていきます。また、子ども自身の活動を重んじ、実行を助け、その結果を常に振り返るように指導します。 ③それぞれの学年における体験活動のねらいや学習活動を系統立てながら実践していきます	①② 児童・保護者アンケート「子どもの友達関係はうまくいっている」の評価を児童4.4 保護者4.3以上に向上します。(令和6年度児童4.3 保護者4.2) 学習意欲の向上に関する教員自己評価4.5以上を目指します。(令和6年度4.4) ③保護者、児童アンケートのうち、「行事は楽しく充実している」の評価を保護者4.8以上、児童4.9以上に向上します。(令和6年度保護者4.7 児童4.8)	①② 保護者・児童アンケート「子どもの友達関係はうまくいっている」の評価は、児童4.5 保護者4.2で概ね目標に達しました。また、学習意欲の向上に関する教員自己評価4.3で目標に達しませんでした。 ③保護者、児童アンケートのうち、「学園小の行事は、楽しく充実している」の評価で、保護者4.7 児童4.8とあり、目標には達していませんが、高評価をえています

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標	自己評価
		す。 また、体育会や秋祭りなどの全校行事、修学旅行などの宿泊行事をさらによりよき体験活動になるよう改善していきます。		す。
5.主体的な生き方の尊重	主体的な学び、共によりよく生きていく考えの形成	①道徳教育 学級生活や道徳の授業を通して、多様な価値観を認め合い、共に生きていこうとする態度を養います。 ②人権教育 人としての在り方・生き方を考え他者とともによりよく生きていくための人権意識を育成します。また、いじめ等の予防、早期発見のため「いじめアンケート」や「日記」などから迅速に方策をねり、対応します。また、外部より講師を招聘し、人権講演を計画し、実践します。	①思いやりのある態度に関する教員自己評価 4.4 以上を目指します。(令和6年度4.3) ②人権意識向上に関する教員自己評価 4.1 以上を目指します。(令和6年度4.0)	①思いやりのある態度に関する教員自己評価 4.5 で目標に達しました。 ②人権意識向上に関する教員自己評価は 4.0 で目標に達しませんでした。
6.安全安心な学校づくりを目指した教育環境の充実	(1)防災教育・不審者対策	児童の生命を守るために、地震などの一般防災に関する対策とマニュアルや不審者等の危機管理に関する対策とマニュアルなど緊急時の対応を常に再検討し、訓練を実施し、校内の安全性を高めます。 また、災害に備えて備蓄品を整えます。	緊急時・防災訓練等安全対策の教員自己評価 4.2 以上を目指します。(令和6年度4.1)	緊急時・防災訓練等安全対策の教員自己評価は 3.6 で目標に達しませんでした。 今年度不審者対策訓練で様々な課題が出ました。検討していく必要があります。

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標	自己評価
	(2)危機管理と情報モラル	<p>①自他の命を尊び、安全なくらしを希求する態度を育てることをめあてに、「非行防止教室」等の外部組織の研修を受け、一人ひとりの安全意識向上に役立てます。</p> <p>②学校管理下の事故未然防止を図るとともに、事故が発生した際、児童の生命と健康を最優先に迅速かつ適切な対応を行います。「小学校危機管理マニュアル」を作成し、校内研修を行います。</p> <p>③「情報モラル教育」授業を行い、携帯やパソコン等の情報機器の正しい使用法を習得させます。特に個人に係わる情報の公開の危険性は人権の観点からも指導します。</p>	<p>①防災や安全に関する指導の教員自己評価 4.2 以上を目指します。(令和 6 年度 4.1)</p> <p>③マナー・モラルに関する教員自己評価 4.3 以上を目指します。(令和 6 年度 4.2)</p>	<p>①防災や安全に関する指導の教員自己評価 4.0 で目標に達しませんでした。</p> <p>②「小学校危機管理マニュアル」を新年度計画において全教員で見直し、各行事ごとに安全に運営できるような資料を作成しました。</p> <p>③マナー・モラルに関する教員自己評価は 4.3 となり目標に達しました。特に駅、ホームを全教員が交代で見回り、児童の安全とマナー指導をしました。</p>
	(3)美化	<p>①落ち着いた環境の中で、安全に学校生活を過ごせるように、教室や運動場等の美化に取り組みます。</p> <p>②子どもに好ましい環境を目指し、遊具等の</p>	<p>①児童・保護者アンケート「学校の美化は行き届いている」の評価を、児童 4.3 保護者 4.4 以上に向上します。(令和 6 年度児童 4.2 保護者 4.3)</p> <p>美化に関する教職員の自己評価 4.0 以上を目指します。(令和 6 年度 3.8)</p> <p>②保護者アンケート「学校の施設設備は安全を</p>	<p>①児童・保護者アンケート「学校の美化は行き届いている」の評価を、児童 4.3 保護者 4.4 となり、目標に達しました。</p> <p>美化意識の向上に関する教職員自己評価は 4.1 で、目標に達しました。</p> <p>②児童・保護者アンケ</p>

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標	自己評価
		設置や補充を計画するとともに、老朽化した設備を修理・改修し、校内の安全性を向上します。	考慮し整備されている」の評価を 4.3 以上に向上します。(令和 6 年度保護者 4.2) 好ましい環境に関する教員自己評価 4.0 以上を目指します。(令和 6 年度 3.3)	「学校の施設設備は安全を考慮し整備されている」の評価はともに 4.2 で目標に達しませんでした。 好ましい環境に関する教員自己評価は 3.6 で、向上していますが目標に達しませんでした。 リノベーション工事は 2 期目となり、1 階 2 階の改修や音楽棟の工事も終わっています。今後遊具等に課題が残ると思われる。
7.内部連携の強化	内部連携の強化	<p>①中学校 小中の系統的な学習が重要であることを自覚し、小学校・中学校それぞれの教員の専門性を融合させ、質の向上に努力します。私学における 9 カ年の小中連携のカリキュラムや実践方法を協議し、組織的・計画的な取り組みを模索します</p> <p>授業やクラブ体験を設け、中学の活動に親しみ、内部進学者数の増加に努め、募集活動を充実します。</p> <p>②幼稚園 「小1プロブレム」等の課題を踏まえ、幼稚園、保育所及び認定こども園と小学校との連</p>	<p>①令和 6 年度は、中学内部進学者 57 名(63%)でした。(91 名中)(令和 7 年度中学入学者) 令和 6 年度学園中学進学は、内部進学者 70%以上を目標とします。</p> <p>また、将来に向け、小中連動のあり方を模索します。</p> <p>②令和 6 年度(令和 7 年度生)は、幼稚園からの内部進学者は 32 名でした。 令和 7 年度(令和 8 年度生)は、内部進学者 45 名以を目標とします。</p>	<p>①令和 7 年度は、内部中学進学者 36/81 名(44%)でした。(令和 8 年度中学入学者) 内部学園中学進学数が減少していますので、その原因を究明します。</p> <p>そのためにも小中連携をより強め、組織的な強化に努める必要があると考えます。</p> <p>②令和 7 年度の内部幼稚園進学者数は 27 名でした。人数が減少し、厳しい状況となっています。入試説明会やオープンスクールなどの広報活動や、幼少交流体験などを行ったが浸</p>

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標	自己評価
		<p>携を一層強化し、子どもの学びの連続性を確保することが重要であり、幼小連携委員会などを通じ、教員間の相互理解と交流を深めます。</p> <p>絵本読み聞かせや合同物作り体験を設け、小学校の活動に親んでもらい、内部進学者数の増加に努め、募集活動を充実します。</p>		<p>透できていない面がありました。</p> <p>幼少で連携し、相互理解に努める必要があると考えます。</p>
8.児童募集の対策	児童募集対策	<p>①募集活動を効率よく行うために、統計的結果を基にして計画を策定します。それをもとに、小学校 HP・リーフレット・パンフレットの充実したものに作成し、いろいろなイベントにおいて広報活動を拡充します。</p> <p>②募集方法や手段・時期の設定として、web 広告を有効的に活用し、より効果的な広報活動を行います。</p> <p>③内部幼稚園受験者を増やすために、幼小合同カリキュラムを作成し、そのプログラムを企画し実践していきます。</p> <p>④外部幼稚園やこども園、幼児教室での入試説明会や体験授業を</p>	<p>①学校ホームページ等の情報提供に関する教員自己評価 4.0 以上を目指します。(令和 6 年度 3.9)</p> <p>②令和 6 年度(令和 7 年度入学生)は 67 名でした。(令和 7 年 1 月現在)</p> <p>令和 7 年度は集定員充足 90 名以上を目標とします。</p>	<p>①学校ホームページ等の情報提供に関する教員自己評価 4.0 となり目標に達しました。</p> <p>②令和 7 年度(令和 8 年度)入学予定者数は 60 名でした。(令和 8 年 1 月現在)</p> <p>入学試験日程や説明会、オープンスクールなどの広報活動の方法を従来に加え。インターネットでも拡充しました。参加者数は徐々に増えていましたが、受験者数増加につなげられなかったと考えます。</p> <p>③内部幼稚園との幼少連携の取り組み方を再考し、教職員の連携を図るようにします。</p> <p>④外部幼稚園やこども</p>

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標	自己評価
		<p>実施し、外部からの受験者増加につなげます。特に前年度本校進学予定者の幼稚園・こども園には、幼小連携や広報活動を行うため、訪問します。</p> <p>⑤私立小学校受験者希望者に、本校の教育方針や特色を理解してもらえるよう、教育活動をInstagramなどのSNSで閲覧できるように編集し、広報活動に役立てていきます。</p>		<p>園には、入学試験後に入学要諦者の園に広報活動を行った。また、次年度のパンフなどの資料を郵送しました。</p> <p>⑤インターネットでも本校のオープンスクールなどを紹介できるランディングページを作成したりInstagramでの学校紹介して、回覧数を調査しました。</p>

